

会員一般研究発表 一三時～一五時

懇親会のお知らせ

九月二十九日(土) 一八～二〇時 ホテルコスモ横浜 八千円

参加費 会員五、〇〇〇円、当日会員一日三、〇〇〇円

主催 アーユルヴェーダ研究会第一二回研究総会事務局

会長 杉田暉道

〒二三一 横浜市中区日本大通五八番地 神奈川県予防医

学協会 産業保健部医局内

電話 〇四五―六四一―八五〇一(代)

〇四五―六四一―三六四九(直通)

FAX 〇四五―六四一―六一四〇

東京での問い合わせ先

〇三―七九三―七一二一

アーユルヴェーダ研究会

日本医史学会関西支部

一九九〇(平成二)年春季大会

京都医学史研究会共催

六月十日(日)

京都市左京区吉田河原町一五―九

京大会館

プロگرام

開会のことば……………長門谷洋治

一 京都府療病院の医師たち……………藤田 俊夫(京都市)

(1) 江阪秀三郎

二 免疫病理学の先駆者馬杉復三

(一八九六～一九四七)の生涯と滋賀県……………友吉 唯夫(滋賀医大)

三 説文にみる歯学概論と疑問……………杉本 茂春(大阪市)

四 歴史の中における皇帝と医学

―唐の太宗について―……………山本 徳子(横浜市大)

五 芫菁(カンタリス)考……………宗田 一(京都市)

六 『和蘭医事問答』の原本『瘍医問答』について……………中山 沃(岡山生大)

七 桑田立齋の上申書および牛痘絵をめぐって……………正橋 剛二(富山市)

八 天保飢饉時伊勢地方の救荒食品について……………篠原 治道(富山医大)

九 松村矩明訳述・高木玄真編撰『解剖摘要図』について……………茅原 弘(津市)

一〇 軍医総監林研海について……………岩治 勇一(大野市)

二 小石第二郎の新潟県下温泉調査について―新潟県下温泉舎

密場試験表……………浦原 宏(新潟市)

三 京都医学図書館の設立と現状……………寺畑 喜朔(金沢医大)

三 山口玄洞の業績について……………江川 義雄(廿日市市)

一四 看護婦規則制定以前の看護婦

養成の実情について……………平尾真智子(慈恵看護学校)

一五 太政官日誌から見た戊辰戦争…奥沢 康正(京都市)

—幕末維新の衛生史考— 安部 達也(京都市)

一六 野口英世箕面銅像の建立経緯…石原 理年(京都市)

特別講演

戦国武将の病氣と性格……………協田 修(大阪大学)

閉会のことば……………杉立 義一

例会記録

一月例会 平成二年一月二十日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 灸寺・粟生病院訪問記

—灸・漢方薬で精神科疾患を治療— 岡田 靖雄

二 済生学舎の歴史について 唐沢 信安

二月例会 平成二年二月二十四日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 「かぜ」の話 蔵方 宏昌

二 一乗谷朝倉氏遺跡出土の古医書焼片について

真柳 誠・小曾戸 洋

三月例会 平成二年三月十七日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 日本占領下のフィリピン薬用植物研究

津谷喜一郎

二 慶應義塾大学の食養研究所の生涯

大村 敏郎

順天堂大学有山記念講堂

五月例会 平成二年五月二十日(日)

(五月の例会は浅田宗伯生誕一七五〇年に振りかえた)

浅田宗伯生誕一七五〇年祭

主催 浅田宗伯生誕一七五〇年祭実行委員会

一 奥田多門と浅田宗伯その他

矢数 道明

二 浅田宗伯先生の門人指導の方法

長谷川弥人

三 浅田流漢方について

坂口 弘

例会抄録

中国における欠歯の風習について

戸出 一郎

医療以外の目的で歯を抜く行為を、医療と区別するために、抜歯という用語を避け、欠歯と呼ぶ。

中国大陸では、解放後、各地で遺跡の発掘が行われ、それに伴って欠歯の事例が多数発見された。

遺跡の主な所在地は、山東省の泰安大汶口、曲阜西夏侯、兗州王因、鄒県野店、膠県三里河、江蘇省邳県大墩子、福建省閩侯県石山、広東省增城金蘭寺、湖北省房県七里河等での分布範囲は黄河下流、淮水下流、長江中下流、珠江下流、華南地方のほとん